



**TOKYO 2025**

25TH SUMMER DEAFLYMPICS

# 東京2025デフリンピックを 通してめざすもの

一般財団全日本ろうあ連盟  
デフリンピック運営委員会

# デフリンピックとは



デフリンピックの提唱者

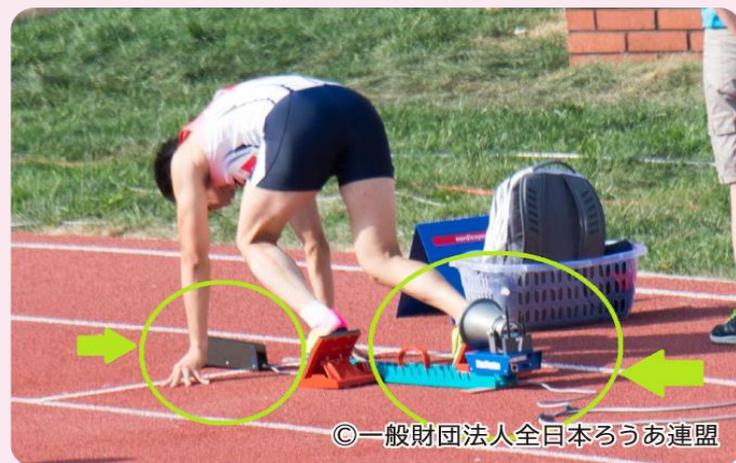
Eugene Rubens-Alcais

(ウジェーヌ・ルーベンス - アルカ  
イス/1884 - 1963)

- 国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD)の主催、夏季と冬季それぞれ4年毎に開催されるデフアスリートの国際総合スポーツ競技大会
- 第1回夏季デフリンピックは、1924年にフランスのパリで開催
- デフリンピックの理念は「手話言語の認知や普及、ろう者の社会的地位向上や社会変革」

## デフリンピックの特徴①

- 参加資格は補聴器や人工内耳等  
をはずした裸耳状態で、聴力損失  
が55デシベルを超えていること
- 選手同士が「きこえない立場」でプ  
レーする公平性の観点により、競  
技会場に入った時点で補聴器等  
の装用は禁止
- 競技ルールは、オリンピックの競  
技ルールとほぼ同じだが、コミュ  
ニケーションや情報保障全てが視  
覚的に保障された競技環境、そし  
て国際手話



### 陸上競技

(スターターの音をスタート  
ランプの光で知らせる)

# デフリンピックの特徴



**バスケットボール競技**  
(ゴールポストに赤色照明)



**サッカー競技**  
(主審は笛と同時に  
フラッグを振る)



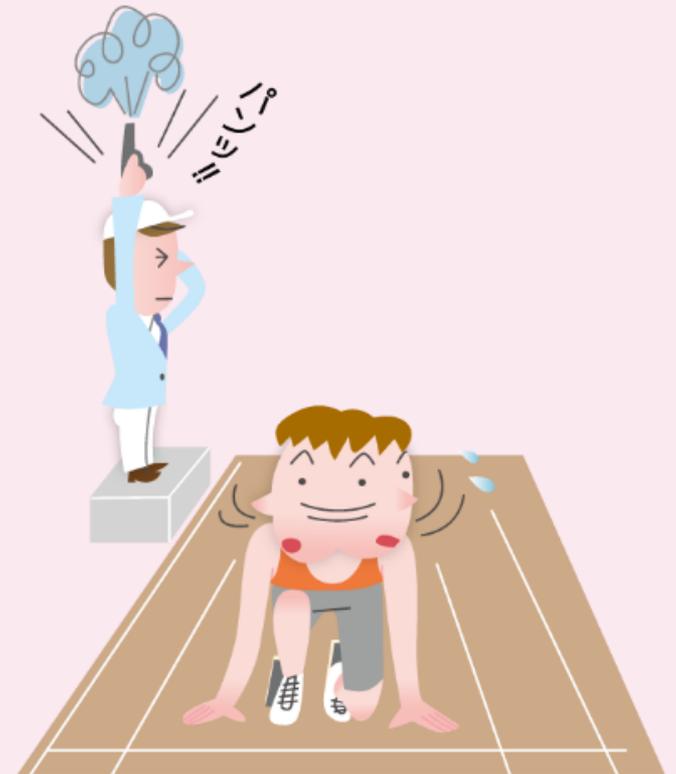
**水泳競技**  
(最後のターンを水面を  
叩くことで知らせる)

# スポーツの世界にも、きこえないことのバリアがある

- スポーツでは、スターター音や打球音等の音声情報はとても重要となる

音声情報がきこえないため、きこえる選手と一緒に競技をする上では、不利となる

- 平衡感覚(バランス)がとりにくい
- コミュニケーションやきこえないという壁により、指導者からの指導を受けることや技術向上が難しい



# 東京2025デフリンピック

## 大会概要

|      |  |
|------|--|
| 正式名称 | 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025<br>(略称) 東京2025デフリンピック   |
| 期間   | 2025年11月15日～26日 (12日間)                           |
| 参加国  | 70～80か国・地域                                       |
| 参加者数 | 各国選手団等：約6,000人<br>(選手約3千人、ICSD役員・SD・審判・スタッフ約3千人) |

## 大会エンブレム



TOKYO 2025  
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

人々の繋がりを意味する「輪」をテーマに、デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表している。デフリンピックを通して「輪」が繋がった先には、新たな未来の花が咲いていくことを表現した。

## 大会ビジョン

1. デフスポーツの魅力や価値を伝え、人々や社会とつなぐ
2. 世界に、そして未来につながる大会へ
3. “誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現

## 競技会場等

| 競技名         | 会場                         |
|-------------|----------------------------|
| 0 開閉会式      | 東京体育館                      |
| 1 陸上        | 駒沢オリンピック公園総合運動場<br>陸上競技場 等 |
| 2 バドミントン    | 武蔵野の森総合スポーツプラザ             |
| 3 バスケットボール  | 大田区総合体育館                   |
| 4 ビーチバレーボール | 大森東水辺スポーツ広場                |
| 5 ボウリング     | 東大和グランドボウル                 |
| 6 自転車 (ロード) | 日本サイクルスポーツセンター             |
| 7 自転車 (MTB) | 日本サイクルスポーツセンター             |
| 8 サッカー      | Jヴィレッジ                     |
| 9 ゴルフ       | 若洲ゴルフリンクス                  |
| 10 ハンドボール   | 駒沢オリンピック公園総合運動場<br>屋内球技場   |

| 競技名                   | 会場                          |
|-----------------------|-----------------------------|
| 11 柔道                 | 東京武道館                       |
| 12 空手                 | 東京武道館                       |
| 13 オリエンテーリング          | 日比谷公園、伊豆大島                  |
| 14 射撃                 | 味の素ナショナルトレーニング<br>センター・イースト |
| 15 水泳                 | 東京アクアティクスセンター               |
| 16 卓球                 | 東京体育館                       |
| 17 テコンドー              | 中野区立総合体育館                   |
| 18 テニス                | 有明テニスの森                     |
| 19 バレーボール             | 駒沢オリンピック公園総合運動場<br>体育館      |
| 20 レスリング<br>(フリースタイル) | 府中市立総合体育館                   |
| 21 レスリング<br>(グレコローマン) | 府中市立総合体育館                   |

日本では初めての開催、また第1回大会(1924年)から  
100周年と歴史に残る大会となる

# 共生社会の形、それが東京2025デフリンピック

## 大会運営

障害のある当事者(全日本ろうあ連盟)ときこえる人たち(東京都、事業団、競技団体、大会を応援、協賛する方々)とともに、大会を運営する

## 競技運営

競技運営を、きこえないスポーツディレクターと競技団体が共に運営。

審判も、きこえない審判員ときこえる審判員が協働する

## 地域

手話言語ができる、できない、また、障害のあるなしに関わらず、多様な人々が共にボランティアをし、大会を支える

**東京2025デフリンピックは**

**多様な人々が個性を活かして活躍し、共に創る大会  
大会を通して、共生社会の実現への前進をめざします**